

いち・にの・さんしん

原三信病院 広報誌 October 2004 NO.

9



(財)日本
医療機能評価
機構認定病院

病院基本方針

- 一、質の高い医療
- 一、居心地の良い環境
- 一、心のこもったサービス



病人のための病院

病院理念

作品：写真部提供（筒井玲子「七里田の秋」）

原点に立ち返って

事務部次長 釜塚 清晴

8月13日から、ギリシャのアテネで21世紀最初の第28回夏期オリンピックが開催されました。近代オリンピックは1894年にフランスのクーベルタン男爵が提唱し、古代オリンピックの故郷であるアテネで始まり、戦争等で中止されたこともありましたが、一世紀を経てオリンピックはその原点の地に戻り、新たな出発を迎えたと云えます。

私共が従事している医療の世界を振り返ってみますと、第1回オリンピック開催より20年前の1874年に、わが国において近代医療制度が、1949年には医療法が制定されました。その後、医療機器等の長足の進歩、医療を受ける人の意識の変化等医療を取り巻く環境が、大きく変化してきました。医療法の最初に「医療提供の理念」という項目があり、そこには「医療の担い手と医療を受ける者との信頼関係に基づき医療を受ける者の心身の状況に応じて行われる」という言葉が掲げられています。この「信頼関係」ということは医療に限らず世の中すべてのことに通じるものであると考えます。

我々もオリンピックと同様、もう一度医療の原点に立ち返り、これまで以上に信頼関係が築けるよう真摯な気持ちで努力していきたいと思えます。



病院にゆくとす

香椎原病院回復期病棟完成

平成十六年九月一日

香椎原病院は、正面に立花、三日月両山を遠望する丘陵地にあり、緑に恵まれた閑静な環境の中で、200床の「完全型療養病床」としてこれまで地域の老人医療に取り組んで参りました。今後急速に高齢化が進む中で、高齢者の「生活の質」向上のためには、病後の早期リハビリテーションのみならず、日頃の体力向上の重要性が指摘されています。当院ではこのたび新たに東館を増築し、回復期リハビリテーション病棟とリハビリテーションセンターを増設致しました。これからは慢性期医療に加え、亜急性期の回復期リハビリテーションに取り組む所存です。さらに「体力向上支援センター」を開設し「パワーリハビリテーション」による地域高齢者の健康と体力向上に寄与したいと存じます。皆様のご利用をお待ちしております。

院長 酒井 照夫

外観



病棟



リハビリテーションセンター

医療トピックス

全館禁煙への流れ



喫煙は呼吸器をはじめ脳や心臓などの重要臓器に悪影響を及ぼす結果、がん、肺気腫、脳卒中、虚血性心疾患の原因となり、多くの健康被害を引き起していることが知られています。加えて非喫煙者の場合でも、間接的な受動喫煙によって種々の障害を発生するという多くの報告があります。さらに、喫煙を継続することは、疾患を発生させるだけでなく、酸素運搬能が悪化し、日常生活での動作能力を低下させ、作業効率の低下や事故の原因となる可能性もあります。

2003年5月世界保健機構(WHO)は日本を含む加盟192カ国で「タバコ規制枠組み条約」を採択しました。わが国ではさらに「健康増進法」が施行され、公共の場での受動喫煙防止対策を一層充実する行動が求められています。日本医師会でもこれらに先駆けて2003年3月に禁煙宣言を行いました。

未成年者や若い女性の喫煙は、我が国においてはむしろ増加しており、妊娠への悪影響や疾病の増加が懸念されます。病院として、国民の健康と良好な生活環境を維持するために、喫煙習慣を抑制し、禁煙の推進に向けて積極的に活動する必要があります。しかしながら、喫煙は刑法により取り締まられるような犯罪ではありませんので、禁煙は個人の自由選択によるものでなければなりません。

当院では、まず、患者様や職員の喫煙行動・禁煙に対する意識をアンケート調査(平成16年8月下旬実施)により、十分に把握します。それに基づき、細やかな対応策を準備し、広報活動をしっかり行います。このような準備期間ののち、患者様・家族と職員が一体となって全館禁煙を実現しようと考えております。皆様には、率直なご意見を聞かせていただくと共に、真摯なご協力をお願い申し上げます。

院内禁煙推進委員会 江口 徹



- 当院は、救急指定病院です。急患の患者様は救急外来にて**24時間365日診察**を行っています。
- 当院では医療機関の機能分担と地域連携を推進しています。従いまして、現在他の医療機関に受診中の方は**紹介状**をご持参下さいますようお願いいたします。



職場紹介コーナー

外来受付編

外来受付では、原三信病院の顔となつて笑顔で患者様をお迎えし、お帰り頂ける様、日々業務に取り組んでいます。モットーは、『親切・丁寧・正確・笑顔で対応』を心がけ、患者様に気持ち良く診療を受けていただけるような環境作りに努めております。

現在、外来受付のスタッフは、14名おり、受付・診療費計算・会計の大きく3つに分かれて仕事をしています。

- ① 受付窓口は、健康保険法・福祉制度の知識を高める勉強にも取り組んでいます。
- ② 医療費を計算する者は、診療費の内訳など問いかけには、即答できるように心がけています。
- ③ 会計窓口では、健康保険法にある高額療養費・療養費支給など手続きに必要な事柄の勉強にも取り組んでいます。

病院での受付の役割は、医師との掛け橋ですが、単に診療科へ案内するだけの存在では無くもつと患者様とコミュニケーションを取り、お役に立ちたいと考えています。

病院内のこと、保険の事など、どんな些細な事でも結構です。疑問に思った事などお気軽にお声を掛けていただけます。スタッフ一同心よりお待ちしております。



医学雑学講座

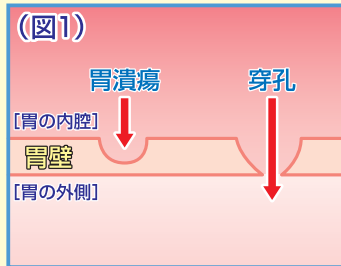
腹痛について〜胃・十二指腸の病氣編〜

腹痛を起こす病氣はたくさんありますが、ここでは頻度の高い内科的な病氣を紹介します。今回は、胃、十二指腸の病氣についてお話しします。

胃潰瘍は上腹部痛や吐き気、吐血や黒色便(下血)等の症状がおこります。胃の壁がえぐられていた状態です(図1)。胃の壁の厚さを越えてえぐられれば、胃の壁に穴が開き(これを穿孔といいます)、強い酸性の胃液が胃袋の外に流出し激しい腹痛をおこす腹膜炎となります。十二指腸潰瘍も胃潰瘍と同じく十二指腸の壁がえぐられていた状態です。胃潰瘍と同様の症状ですが、腹痛は空腹時におこることが多いようです。勿論、穿孔もおこします。バツファリン等の鎮痛剤を服用しているうちに、急に上腹部痛がおこることがありますが、これは鎮痛剤が胃潰瘍や胃の炎症を発生させるためです。サバ等の青魚を食べた後に、強い上腹部痛がおこることがありますが、これは青魚の寄生虫であるアニサキスが胃の壁に噛み付くのが原因です。この場合は内視鏡でアニサキスを取り除くと腹痛は消失します。

血液検査や内視鏡検査、CT検査、超音波検査などの検査で異常が全く無いのに上腹部痛を訴える患者様もおられます。この場合は胃や十二指腸の機能性異常と考えられます。胃は食餌を取ると食物を細かく砕くために強く収縮しながら胃の入り口から十二指腸につながる胃の出口まで順序よく食物を移動させますが、特に胃の出口近くの収縮力が弱い場合(上腹部痛を感じる)があります。また空腹時には胃はリズム正しく収縮していますが、このリズムが狂っている場合(これを心臓の場合と同様に胃の不整脈と言います)に上腹部痛を感じることがあります。

一番心配なのは胃癌です。早期胃癌にはこれといって定まった症状はありません。50歳以上の方には1年に1回の胃の検診をお勧めします。また上腹部痛を含め何らかの腹部症状が出現したら、我慢をせずに胃の検査、特に内視鏡検査を受けられることをお勧めします。次回は大腸・小腸の病氣のお話です。



消化器科部長 千々岩 芳春



薬のママ知識

「禁煙補助薬」

禁煙補助薬にはガムの形のニコチンガム(ニコレット)と貼付剤のニコチンパッチ(ニコチネルTTS)があります。

ニコチンガムは薬局で気軽に購入できますが、効果はニコチンパッチに比べると弱く、1日15本以上吸うヘビースモーカーの方には向きません。そしてゆっくり嘔みましよう。嘔みすぎると効果は出にくくなり、逆に喉や胃が痛くなるなどの副作用が現れやすくなります。

ニコチンパッチは医師の処方が必要ですが、毎日1回貼り替えるだけで、ヘビースモーカーの方たちにもはつきり効果が見えます。効果は5分位で現れますが、副作用として、貼付場所のかぶれや不眠などがあります。

また禁煙治療中は決してタバコを吸わないようにしましょう。ニコチン過剰症状で気分が悪くなったりと副作用が現れます。禁煙補助薬は禁煙には強い味方ですが、頼りすぎず、強い意思を持って禁煙を实行しましょう。



薬剤科 西田 信之

編集後記

今年の夏は猛暑と台風が続いておりましたが、9月の声を聞いた途端に秋を感じさせる天気となりました。自然の移ろいには、唯唯驚かされるばかりです。香椎原病院では、9月に回復期リハビリ病棟が完成し新たな歩みを始めました。これからも患者様の立場に立った病院づくりに努めてまいります。ぜひ、皆様のご意見も当院意見箱などを通じて、お聞かせください。

広報委員会 委員長 原 直彦



わが町のホームドクター

ホームドクターのご紹介をさせていただきます。私たちは、地域の先生方と協力して皆様のお役に立つよう努めています。どんなことでもホームドクターにご相談ください。



施設名 中央レディスクリニック

登録医 結城 裕之

住所 福岡市中央区天神2-14-8
天神センタービル7F

電話番号 092(736)3355

診療科 産婦人科

診療日 月火水金 10:00~19:00
木 10:00~13:00 土 10:00~17:00





施設名 大石整形外科眼科クリニック

登録医 大石 年秀

住所 福岡市南区大楠3-25-1

電話番号 092(521)2250

診療科 整形外科・眼科・リハビリテーション科・リウマチ科

診療日 月~土(水・木・土AMのみ)





施設名 多々良内科循環器科医院

登録医 三岡 相啓

住所 福岡市東区土井1-21-1

電話番号 092(691)7166

診療科 内科・循環器科

診療日 月~土(土AMのみ)





施設名 小堀ビル内科クリニック

登録医 池松 渉

住所 福岡市博多区東比恵1-5-9

電話番号 092(441)2623

診療科 内科

診療日 月~土(水・土AMのみ)





施設名 佐伯内科クリニック

登録医 佐伯 和之

住所 福岡市博多区博多駅前1-1-1
博多新三井ビル地下2F

電話番号 092(482)5711

診療科 胃腸科・循環器科・内科

診療日 月~土(水・土AMのみ)





施設名 石橋内科循環器科医院

登録医 石橋 明人

住所 福岡市博多区竹丘町2-4-1

電話番号 092(581)0314

診療科 内科・循環器科・小児科

診療日 月~土(土AMのみ)



※ここでご紹介する先生方は、当院の開放型病院制度(医院・クリニックの医師が当院において共同で診療ができる)の登録医になって頂いている先生です。

救急指定

原三信病院

(財)日本医療機能評価機構認定病院



TEL ■ 092(291)3434
FAX ■ 092(291)3424
E-mail ■ info@harasanshin.or.jp

福岡市博多区大博町1-8



<http://www.harasanshin.or.jp>

● 診療時間

月~金曜日 9:00~13:00 14:00~17:00
土曜日 9:00~13:00

※日・祝日および8月15日・12月31日~1月3日はお休みです。但し、急患の患者様は、救急外来にて診察いたします。

● 診療科目

総合診療科・循環器科・消化器科・呼吸器科・感染症免疫科・糖尿病科・血液内科・腎臓内科・外科・整形外科・脳神経外科・泌尿器科・産婦人科・放射線科・麻酔科・臨床病理科・歯科・人間ドック